

# T&D保険グループ

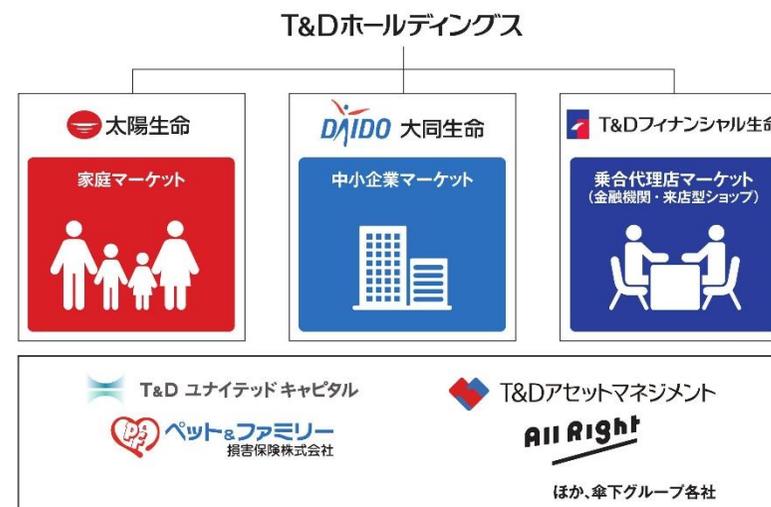
## 2023年3月期第2四半期(中間)決算のお知らせ

2022年11月14日

株式会社 T&Dホールディングス

# 目次・グループストラクチャー

[2023年3月期第2四半期(中間)決算のサマリー]	P. 2
1. T&D保険グループ決算の概況	P. 4
2. 国内生命保険事業	P. 7
3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業	P. 13
4. 通期業績予想・株主還元	P. 15
【参考】新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況	P. 16



T&D保険グループのT&Dホールディングス傘下には、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の中核生保3社のほか、グループの事業ポートフォリオの多様化を担うT&Dユナイテッドキャピタル（クローズドブック事業等）や T&Dアセットマネジメント（アセットマネジメント事業）、ペット&ファミリー損害保険（損害保険事業）、All Right（ヘルスケア・健康領域におけるサービス提供事業等）等のグループ会社があります。

<本資料における計数の定義>

連結	: T & Dホールディングス（連結）
3社合算	: 生命保険会社3社（太陽生命、大同生命、T & Dフィナンシャル生命）の単純合算

# [2023年3月期第2四半期(中間)決算のサマリー]

## ■ 1. T&D保険グループ決算の概況<sup>※1</sup>

詳細はP4~6

	2022/3期 2Q累計	2023/3期 2Q累計	前年同期比
経常収益	11,078 億円	14,968 億円	+35.1 %
グループ修正利益 <sup>※2</sup>	557 億円	654 億円	+17.4 %
親会社株主に帰属する 中間純利益 (△は純損失)	317 億円	△ 1,483 億円	- %

- 「経常収益」は、国内生命保険事業の業績好調により、前年同期から増加。
- 「グループ修正利益」は、新型コロナウイルス関連の支払が増加したもののT & Dフィナンシャル生命およびT & Dユナイテッドキャピタルの利益が増加したことにより前年同期から増加。
- 「親会社株主に帰属する中間純利益」は、海外再保険関連会社(以下、フォーティテュード社)における、米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等により前年同期から減少。

## ■ 2. 国内生命保険事業 (3社合算)

詳細はP7~12

	2022/3期 2Q累計	2023/3期 2Q累計	前年同期比
新契約年換算保険料	613 億円	781 億円	+27.5 %
	2022/3末	2022/9末	前期末比
保有契約年換算保険料	15,431 億円	15,534 億円	+0.7 %
	2022/3期 2Q累計	2023/3期 2Q累計	前年同期比
保険料等収入	8,892 億円	11,138 億円	+25.2 %
	2022/3期 2Q累計	2023/3期 2Q累計	前年同期比
基礎利益 <sup>※3</sup>	877 億円	657 億円	△ 25.0 %
	2022/3期 2Q累計	2023/3期 2Q累計	前年同期比
修正利益 <sup>※2</sup>	489 億円	504 億円	+3.2 %
	2022/3期 2Q累計	2023/3期 2Q累計	前年同期差
新契約価値 <sup>※4</sup>	803 億円	1,003 億円	+199 億円

- 主力商品の販売好調や対面・非対面を融合した営業活動の実践により契約業績は堅調。「新契約年換算保険料」および「保険料等収入」とも、前年同期から増加。
- 「基礎利益」は、保険金等支払金の増加および為替ヘッジコストの増加等により前年同期から減少。
- 「新契約価値」は、新契約の増加および金利上昇に伴い前年同期から増加。

※1 2022/3期2Q累計は2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

※2 修正利益とは、当期(中間)純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

※3 2023/3期2Q累計は基礎利益の改正を反映し算出しています。(以下、新基準。)2022/3期2Q累計は新基準で再計算しています。改正前基準による2022/3期2Q累計の基礎利益は930億円です。

※4 新契約価値とは、当期中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものです。

# [2023年3月期第2四半期(中間)決算のサマリー]

## ■ 3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業

(T&Dユニテッドキャピタル(連結)・T&Dアセットマネジメント・ペット&ファミリー損害保険合算)

詳細はP13~14

	2022/3期 2Q累計	2023/3期 2Q累計
修正利益※	66 億円	150 億円
中間純利益(△は純損失)	△ 174 億円	△ 1,976 億円

- 「修正利益」は、T & Dユニテッドキャピタルの主要投資先であるフォーティテュード社の業績が好調だったことにより前年同期から増加。
- 「中間純利益」は、フォーティテュード社の米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等により前年同期から減少。

## ■ 4. 通期業績予想・株主還元

2022年5月13日公表の2023年3月期通期業績予想を次のとおり修正。

詳細はP15

	2022/3期 実績	2023/3期 予想	
		前回発表予想	今回発表予想
グループ修正利益※	392 億円	1,060 億円	900 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益(△は純損失)	141 億円	170 億円	△ 1,600 億円

2022年5月13日公表内容から変更なし。

	2022/3期 実績	2023/3期 予想
1株当たり年間配当金	56.0 円	62.0 円
(うち中間配当)	28.0 円	31.0 円

- 中間決算の「グループ修正利益」は前年同期から増加したものの、新型コロナウイルス関連の支払増加および下期以降の為替ヘッジコストのさらなる増加等を勘案し2023年3月期通期業績予想を下方修正。
- 「親会社株主に帰属する当期純利益」はフォーティテュード社の米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等を反映し下方修正。
- 2023年3月期の1株当たり配当金予想は修正なし。1株当たりの「中間配当」は31.0円。「1株当たりの年間配当金」は2022年3月期より6.0円増配の62.0円、8期連続の増配予定。
- 2023年3月期の株主還元として、200億円を上限とする自己株式取得の実施を決定。

※ 修正利益とは、当期(中間)純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損失等を調整した経営実態を表す指標。

# 1. T&D保険グループ決算の概況（連結損益）

## ■ 連結損益

(単位：億円)

	2022/3期 2Q累計	2023/3期 2Q累計	前年同期差	前年同期比
<b>経常収益</b>	11,078	14,968	+3,890	+35.1%
うち保険料等収入	8,933	11,186	+2,252	+25.2%
うち資産運用収益	1,726	3,362	+1,635	+94.7%
うち利息及び配当金等収入	1,613	1,761	+148	+9.2%
うちその他経常収益	417	419	+1	+0.4%
<b>経常費用</b>	10,408	16,117	+5,709	+54.9%
うち保険金等支払金	6,537	10,924	+4,387	+67.1%
うち責任準備金等繰入額	1,929	646	△ 1,283	△ 66.5%
うち資産運用費用	296	918	+622	210.2%
うち持分法による投資損失	177	2,006	+1,828	-
<b>経常利益（△は損失）</b>	669	△ 1,149	△ 1,819	-
特別損益	△ 42	△ 36	+6	-
契約者配当準備金繰入額	121	114	△ 6	△ 5.3%
税金等調整前中間純利益	505	△ 1,300	△ 1,806	-
法人税等合計	187	179	△ 7	△ 4.2%
<b>親会社株主に帰属する 中間純利益（△は純損失）</b>	317	△ 1,483	△ 1,800	-
<b>グループ修正利益</b>	557	654	+97	+17.4%

- 経常収益は前年同期より増加したものの、それ以上に経常費用が増加したことで、経常利益は前年同期より大幅に減少。

### <主な増減要因>

- ① 政策保有株式の売却等による有価証券売却益の増加等
- ②③ コロナ関連の支払増加やT & Dフィナンシャル生命における再保険の影響および円安による外貨連動型保険の解約増加等
- ④ 為替ヘッジコストの増加等
- ⑤ フォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損失等

当期（中間）純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

\* 2022/3期2Q累計は2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

# 1. T&D保険グループ決算の概況（グループ修正利益）

## ■ グループ修正利益の増減内訳と親会社株主に帰属する中間純利益との差異

（億円）



\* 修正利益とは、当期（中間）純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

## 1. T&amp;D保険グループ決算の概況 (MCEV)

## ■ MCEV

(単位：億円)

	2022/9末	前期末差
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	34,552	△ 533
生命保険事業のMCEV	35,326	+1,180
うち太陽生命	10,695	△ 649
うち大同生命	23,184	+1,703
うちT&Dフィナンシャル生命	1,179	+65
生命保険以外の事業に係る純資産	△ 774	△ 1,713

\* 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV (エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。

\* 「生命保険以外の事業に係る純資産」の前期末差 (△1,713億円) には、フォーティテュード社に係る会計上の一時的な評価性損失等 (△2,127億円) を含んでいます。

## 2. 国内生命保険事業（新契約・保有契約・新契約価値）

### ■ 新契約の状況

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3期 2Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 2Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 2Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 2Q累計	前年同期差 (前年同期比)
新契約年換算保険料	781	+168 (+27.5%)	187	+15 (+8.7%)	341	+30 (+9.6%)	252	+123 (+95.6%)
うち第三分野	208	+29 (+16.7%)	116	+21 (+22.4%)	90	+10 (+13.2%)	1	Δ 1 (Δ 52.4%)

\* 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

### ■ 保有契約の状況

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/9末	前期末差 (前期末比)	2022/9末	前期末差 (前期末比)	2022/9末	前期末差 (前期末比)	2022/9末	前期末差 (前期末比)
保有契約年換算保険料	15,534	+102 (+0.7%)	5,782	Δ 17 (Δ 0.3%)	8,016	+26 (+0.3%)	1,735	+93 (+5.7%)
うち第三分野	2,851	+75 (+2.7%)	1,329	+51 (+4.0%)	1,487	+23 (+1.6%)	35	+0 (+2.3%)

### ■ 新契約価値

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2023/3期 2Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 2Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 2Q累計	前年同期差 (前年同期比)	2023/3期 2Q累計	前年同期差 (前年同期比)
新契約価値	1,003	+199 (+24.9%)	318	+55 (+20.9%)	649	+128 (+24.6%)	35	+16 (+88.2%)

\* 新契約価値は、当期中に販売した新契約（転換契約を含む）の価値を表したものです。

## 2. 国内生命保険事業（損益関係）

（単位：億円）

	3 社合算			太陽生命			大同生命			T&Dフィナンシャル生命		
	2023/3期 2Q累計	前年同期差	前年同期比	2023/3期 2Q累計	前年同期差	前年同期比	2023/3期 2Q累計	前年同期差	前年同期比	2023/3期 2Q累計	前年同期差	前年同期比
<b>経常収益</b>	<b>15,263</b>	+4,328	+39.6%	<b>5,173</b>	+1,111	+27.4%	<b>5,249</b>	+184	+3.6%	<b>4,839</b>	+3,032	+167.8%
うち保険料等収入	11,138	+2,245	+25.2%	3,230	+1	+0.1%	3,959	+27	+0.7%	3,948	+2,215	+127.9%
うち資産運用収益	3,369	+1,614	+92.0%	1,367	+588	+75.6%	1,134	+205	+22.1%	867	+820	-
うち利息及び配当金等収入	1,773	+149	+9.2%	914	+168	+22.6%	828	△ 16	△ 1.9%	30	△ 3	△ 10.1%
うちその他経常収益	755	+469	+163.6%	576	+520	+941.8%	156	△ 48	△ 23.6%	23	△ 3	△ 13.9%
<b>経常費用</b>	<b>14,410</b>	+4,327	+42.9%	<b>4,908</b>	+1,050	+27.2%	<b>4,783</b>	+367	+8.3%	<b>4,718</b>	+2,909	+160.9%
うち保険金等支払金	10,898	+4,384	+67.3%	3,834	+980	+34.4%	2,700	+148	+5.8%	4,363	+3,255	+293.9%
うち責任準備金等繰入額	1,119	△ 813	△ 42.1%	82	△ 255	△ 75.7%	921	△ 113	△ 10.9%	115	△ 444	△ 79.3%
うち資産運用費用	921	+606	+192.8%	425	+273	+179.7%	439	+295	+204.7%	57	+38	+207.3%
<b>経常利益</b>	<b>852</b>	+0	+0.1%	<b>264</b>	+61	+30.0%	<b>466</b>	△ 182	△ 28.2%	<b>121</b>	+122	-
特別損益	△ 36	+6	-	△ 6	+10	-	△ 26	△ 5	-	△ 3	+0	-
契約者配当準備金繰入額	114	△ 6	△ 5.3%	58	△ 5	△ 7.9%	56	△ 1	△ 2.5%	+0	+0	-
税引前中間純利益	701	+13	+2.0%	200	+76	+62.5%	383	△ 186	△ 32.7%	117	+123	-
法人税等合計	206	+9	+4.8%	55	+20	+58.5%	114	△ 48	△ 29.5%	35	+36	-
<b>中間純利益</b>	<b>494</b>	+4	+0.9%	<b>144</b>	+56	+64.1%	<b>268</b>	△ 138	△ 34.0%	<b>81</b>	+86	-
<b>修正利益</b>	<b>504</b>	+15	+3.2%	<b>144</b>	+56	+64.1%	<b>268</b>	△ 138	△ 34.0%	<b>91</b>	+97	-
<b>基礎利益</b>	<b>657</b>	△ 219	△ 25.0%	<b>163</b>	△ 79	△ 32.6%	<b>446</b>	△ 218	△ 32.9%	<b>47</b>	+78	-
<b>順ざや</b>	<b>530</b>	+107	+25.5%	<b>362</b>	+215	+146.3%	<b>178</b>	△ 114	△ 39.0%	<b>△ 10</b>	+6	-

\* T&Dフィナンシャル生命の修正利益は、中間純利益から市場価格調整（MVA）に関連する評価性の損益を調整して算出しています。

\* 基礎利益・順ざやは新基準で算出しています。前年同期差、前年同期比は、2022/3期2Q累計を新基準で再計算し算出しています。

## 2. 国内生命保険事業（健全性指標等）

### ■ ソルベンシー・マージン比率

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/9末	前期末差	2022/9末	前期末差	2022/9末	前期末差	2022/9末	前期末差
ソルベンシー・マージン比率	889.5%	136.8pt低下	601.3%	132.9pt低下	1,094.4%	109.4pt低下	495.9%	253.6pt低下

### ■ 実質純資産

(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/9末	前期末差	2022/9末	前期末差	2022/9末	前期末差	2022/9末	前期末差
実質純資産	17,703	△ 8,972	5,432	△ 3,088	12,394	△ 3,266	112	△ 984

### ■ 有価証券等の差損益（一般勘定）

(単位：億円)

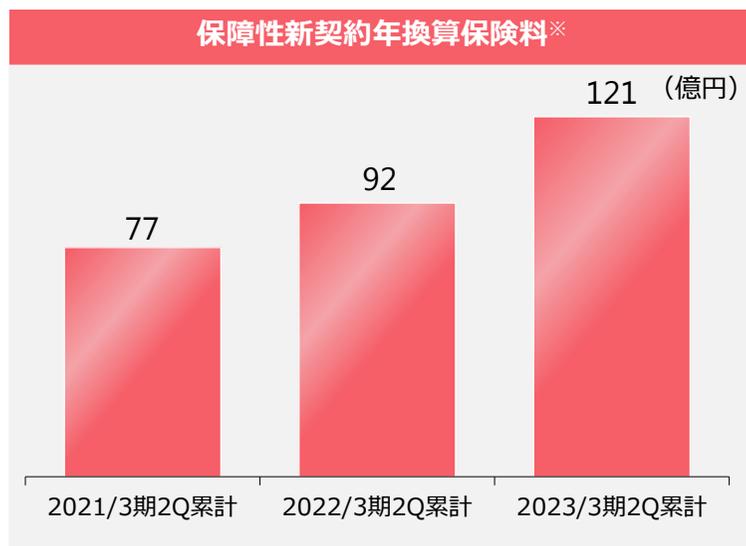
	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	2022/9末	前期末差	2022/9末	前期末差	2022/9末	前期末差	2022/9末	前期末差
有価証券の差損益	659	△ 7,942	1,037	△ 3,171	445	△ 3,759	△ 824	△ 1,011
うち公社債	△ 372	△ 3,642	394	△ 1,363	△ 1,062	△ 2,151	296	△ 127
うち株式	2,365	△ 409	908	△ 198	1,457	△ 211	-	-
うち外国証券	△ 576	△ 2,702	△ 422	△ 1,495	△ 148	△ 1,202	△ 5	△ 4
土地等の差損益	1,434	+0	632	△ 1	801	+1	-	-

\* 有価証券の差損益は、有価証券のうち市場価格のない株式等および組合出資金等は除いています。

\* 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しています。

## 【参考】太陽生命の主要ポイントと状況

- 保障性新契約年換算保険料は、前年同期から31.4%の増加。



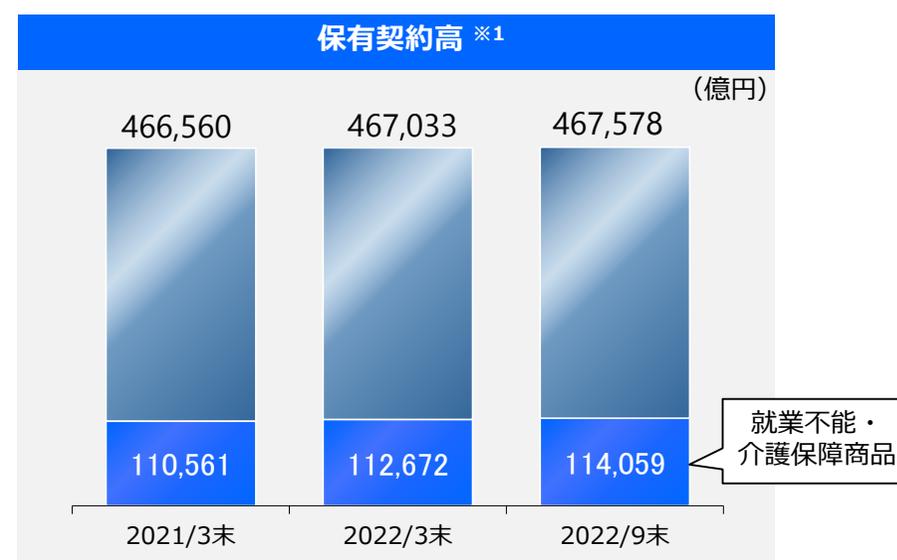
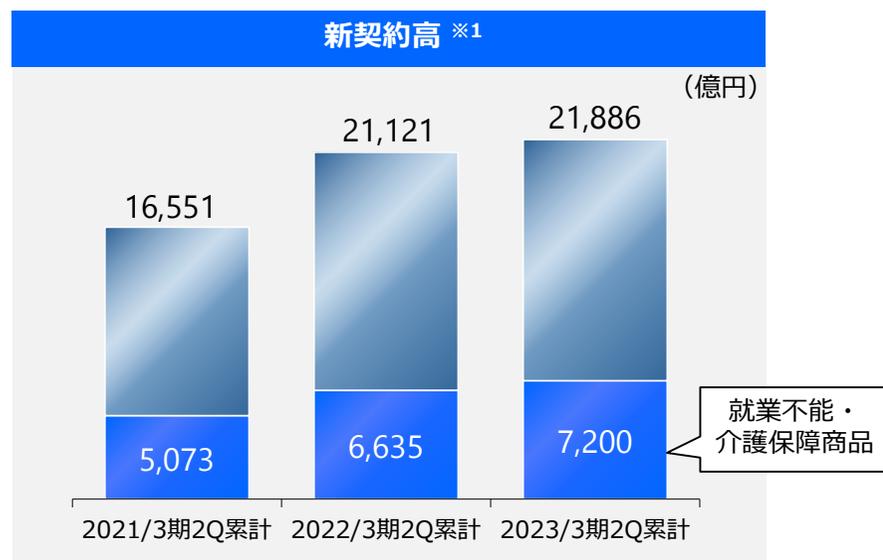
- 保障性新契約年換算保険料は、インフォーマーシャルやインターネット広告等を経由した情報を活用し、対面・非対面を融合させた「ハイブリッド型営業」の推進や、2022年5月に発売した「告知緩和型死亡保険」・「選択緩和型先進医療保険」等の販売が好調であったことにより、前年同期から31.4%の増加。
- 保障性保有契約年換算保険料についても、第三分野商品の販売好調により前年度末から2.5%増加し、上場以来最高だった前年度末からさらに伸展。

- ・新たな営業スタイル「ハイブリッド型営業」の確立により、顧客とのアプローチ機会が拡大し新規顧客が増加。
- ・お客さまのさまざまなニーズに対応するため、2022年5月に「告知緩和型死亡保険」・「選択緩和型先進医療保険」・「事故割増死亡保険」を販売開始し好調に推移。また、「ひまわり認知症予防保険」等の認知症関連商品の合計販売件数が80万件を超え、好調な販売が継続。

※ 保障性年換算保険料（太陽生命独自の指標）とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。同指標はE Vの伸展に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標。

## 【参考】大同生命の主要ポイントと状況

- 第1四半期から引き続き、新契約高は堅調に推移し、前年同期から増加。保有契約高は前年度末から純増。



- 対面・非対面を組み合わせた丁寧なコンサルティング営業の実践等により、お客さまの保障ニーズに対し的確にお応えしたことで、主力である定期保険、特にオーダーメイド型商品（αシリーズ）の販売が堅調に推移。
- 「就業不能・介護保障商品」の新契約高も前年同期から増加。
- 新契約高が堅調に推移したことにより、保有契約高は前年度末から純増。

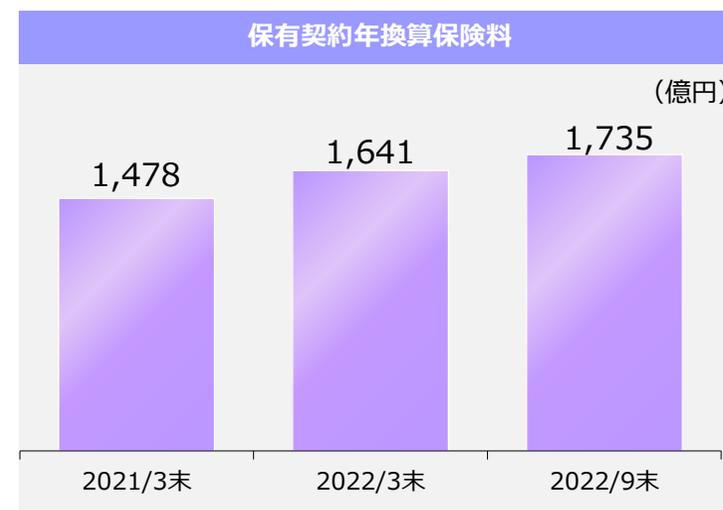
- ・ 創業120周年を機に、大学と連携し起業やイノベーションをテーマとした中小企業の「学びの場」を提供。  
（8月：明治大学で一般向け講座を開催、9月：大阪大学の学生向けプロジェクトに参画）
- ・ また、健康経営®※2に積極的に取り組む中小企業を表彰する当社独自の制度「DAIDO KENCO AWARD」を開始。  
（応募期間：2022年12月末まで、表彰時期：2023年3月予定）
- ・ 引き続き、中小企業のお客さまの課題解決に役立つ様々なソリューションの提供を通じ、「中小企業に信頼されるパートナー」を目指す。

※1：当ページ記載の「新契約高」「保有契約高」には、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフα」等の介護保険金額を含みます。

※2：「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

## 【参考】 T & D フィナンシャル生命の主要ポイントと状況

- 新契約年換算保険料は前年同期から約2倍。保有契約年換算保険料は前年度末から増加。



- 新契約年換算保険料は252億円、前年同期から約2倍。内外金利上昇による商品の魅力度向上等の影響により、一時払終身保険「生涯プレミアムワールド5」および「生涯プレミアムジャパン5」の販売が堅調に推移。また、変額保険「ハイブリッドシリーズ」も商品浸透および代理店数が拡大したことにより、着実に販売が拡大。
- 保有契約年換算保険料は1,735億円、前年度末から5.7%の増加。

人生100年時代の自助努力による資産形成をサポートする「ハイブリッドシリーズ」は、「投資信託」と「生命保険」を融合した変額保険。2021年6月販売開始の「ハイブリッド アセット ライフ」、2021年12月販売開始の「ハイブリッド あんしん ライフ」に加え、2022年4月より「ハイブリッド つみたて ライフ」を販売開始。シリーズ3商品で資産形成層から高齢層まで幅広くカバーし、お客さまの保障ニーズやリスク許容度に応じた設計も可能な商品を提供。

### 3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業 (クローズドブック事業等)

#### ■ T & Dユナイテッドキャピタル（連結）の状況

- 会計上の一時的な評価性損益等を調整した修正利益は、フォーティテュード社における運用収支が好調であったこと等により、149億円と前年同期から増加。中間純利益は、フォーティテュード社の米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等を計上したことによりマイナスとなった。

(単位：億円)

	2022/3期 2Q累計	2023/3期 2Q 累計	前年同期差
経常収益	0	1	+1
経常費用	189	2,009	+1,819
うち持分法による投資損失	178	1,999	+1,821
経常利益（△は損失）	△ 189	△ 2,007	△ 1,818
中間純利益（△は純損失）	△ 176	△ 1,978	△ 1,801
修正利益	64	149	+84

#### 【ご参考】

- ・フォーティテュード社の第3四半期連結会計期間（2022年7月1日～2022年9月30日）において、主に米国金利上昇等に伴い会計上の一時的な評価性損失等を計上する見込み。
- ・当社の第3四半期連結会計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）において、この一時的な評価性損失等を含めフォーティテュード社にかかる持分法による投資損失として370億円程度を計上する見込み。
- ・なお、一時的な評価性損失等を調整した修正利益は、第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)で190億円程度を計上する見込み。

\* フォーティテュード社の決算日は12月末であり、同社の第3四半期連結会計期間（2022年7月1日～2022年9月30日）の損益は、当社第3四半期決算に反映されます。

\* 2022/3期2Q累計は2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

\* 修正利益とは、当期（中間）純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

### 3. 事業ポートフォリオの多様化を担う事業 (アセットマネジメント事業・損害保険事業)

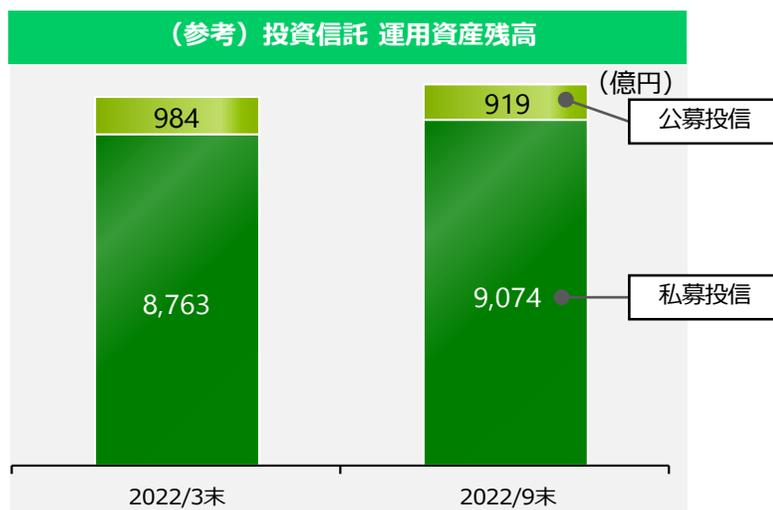
#### ■ T & Dアセットマネジメントの状況

- 主力の投資信託については資金流入超となったものの、証券市場の下落による時価減少等により運用資産残高が減少し、営業収益※は前年同期から減少。経常利益・中間純利益はマイナスとなった。

(単位：百万円)

	2023/3期 2Q累計	前年同期差
営業収益 (実質ベース)※	1,346	△ 98
経常利益 (△は損失)	△ 54	△ 157
中間純利益 (△は純損失)	△ 58	△ 133

※販売会社や運用委託先への支払いを控除した実質的な営業収入。



#### ■ ペット&ファミリー損害保険の状況

- 保有契約件数の増加により、経常収益は順調に伸展。中間純利益は前年同期から増加。

(単位：百万円)

	2023/3期 2Q累計	前年同期差
経常収益	4,864	+708
経常利益	307	+105
中間純利益	220	+72



## 4. 通期業績予想・株主還元

### ■ 2023年3月期 通期業績予想

- 2023年3月期通期業績予想を修正。「経常収益」はT & Dフィナンシャル生命における外貨連動型保険の販売好調による保険料等収入の増加を見込み上方修正するものの、「グループ修正利益」は新型コロナウイルス関連の支払増加および下期以降の為替ヘッジコストのさらなる増加等を勘案し下方修正。「親会社株主に帰属する当期純利益」はフォーティテュード社の米国金利上昇に伴う会計上の一時的な評価性損失等を反映し下方修正。

#### 【T&D保険グループ連結】

(単位：億円)

	2022/3期 (実績)	2023/3期		
		(前回発表予想)	(今回発表予想)	(増減額)
経常収益	26,143	23,900	27,800	+3,900
経常利益 (△は損失)	570	840	△ 1,000	△ 1,840
親会社株主に帰属する当期純利益 (△は純損失)	141	170	△ 1,600	△ 1,770
グループ修正利益	392	1,060	900	△ 160

\* 修正利益とは、当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

#### 【生保3社】

(単位：億円)

	太陽生命			大同生命			T&Dフィナンシャル生命		
	2022/3期 (実績)	2023/3期 (前回発表予想)	2023/3期 (今回発表予想)	2022/3期 (実績)	2023/3期 (前回発表予想)	2023/3期 (今回発表予想)	2022/3期 (実績)	2023/3期 (前回発表予想)	2023/3期 (今回発表予想)
経常収益	14,398	8,400	9,200	10,326	10,300	10,700	4,853	4,800	7,500
経常利益 (△は損失)	△ 866	560	400	1,227	1,020	880	56	0	60
当期純利益 (△は純損失)	△ 741	280	180	762	620	510	31	△ 10	30
保険料等収入	5,981	6,800	6,100	8,080	8,200	8,200	3,671	4,500	6,500

### ■ 株主還元 ※2022年5月13日公表内容から変更なし。

	2022/3期 実績	2023/3期 予想
1株当たり年間配当金	56.0円	62.0円
(うち中間配当)	28.0円	31.0円

### ■ 自己株式の取得

- 株主還元として、200億円を上限とする自己株式取得の実施を決定。

※ 通期業績予想の修正、自己株式の取得については、本日公表のニュースリリースをご参照ください。  
 なお、実際の業績は今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

## 【参考】新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況

### ■ 新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況 (3社合算)

(単位：件、億円)

	2021/3期累計		2022/3期累計		2023/3期 2Q累計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
死亡保険金	29,037	1,602	30,386	1,649	15,117	869
うち新型コロナウイルス感染症関連	209	15	548	47	233	16
入院給付金	276,312	208	319,232	233	391,931	314
うち新型コロナウイルス感染症関連	3,725	3	28,129	35	145,810	208
うちみなし入院 (率)	約60%		約90%		約99%	

\* 保険契約に関する取扱条件等については、各社のホームページをご覧ください。

さあ、保険の新次元へ。

**T&D** 保険グループ

【お問合せ先】

株式会社 T & D ホールディングス	広報課 加藤	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課 貴志	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課 斎藤	TEL 03-3272-6206
T & D フィナンシャル生命保険株式会社	広報課 伴	TEL 03-6745-6808